

キウイフルーツ (ハイワード) 情報提供：神奈川県足柄上郡在住 K様 (32285) 2012年8月23日

スーパーER施用4回で糖度が上がり、甘味と酸味のバランスが良く、収量は50%、収益は20%上がることが見込まれています。

**特長**

- 忙しい為に摘果の時期が1ヶ月遅れましたが、玉伸びが良いです。(6月→7月)
- 糖度が上り、甘味比のバランスが良いです。
- 日持ちが以前より良くなりました。
- 葉色が濃く、肉厚になりました。
- 開花期の花腐れが減ることにより、着果率が高くなりました。

**栽培地状況**

- 足柄平野の中心地。山沿にあり、露地栽培で30年の老木です。
- 栽培面積は5アールです。
- みかん35アール、野菜全般100アールで種類多く栽培しています。
- スーパーERの使用は2年目です。

**施用状況** <2011年～> 5アール当たり

	日付	希釈倍率	施用量
土壌灌水	3/ 25	1000倍	300ℓ
	4/ 30		200ℓ
作物への散布	6/ 27		
	10/ 20		
収穫時期	11月中旬 ~		

**生産者の声**

- 収量は、150%以上の増収が見込めます。
- 収益は、20%アップです。他の生産者より売れ行きが良いです。
- 柑橘類に散布したところ、味が良くなり、大口の注文が多くなりました。
- 発酵有機肥料と配合有機肥料を併用しています。
- 来年は、スーパーERの1回の使用量を増やし、ERボカシも使っていきたいです。
- 農薬の使用量を半分にしたいです。

**◆ご使用にあたってのポイント**

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壤中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。